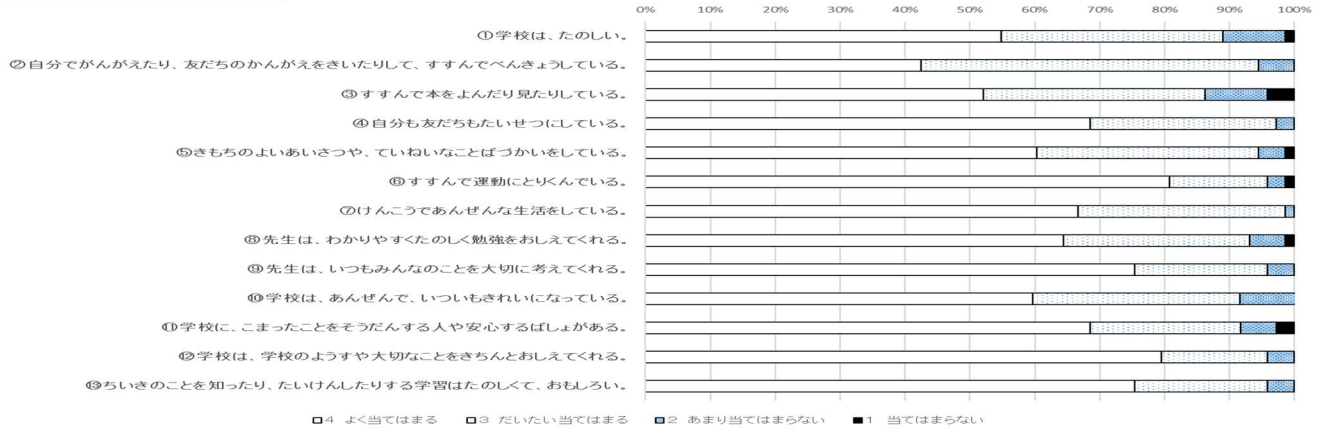


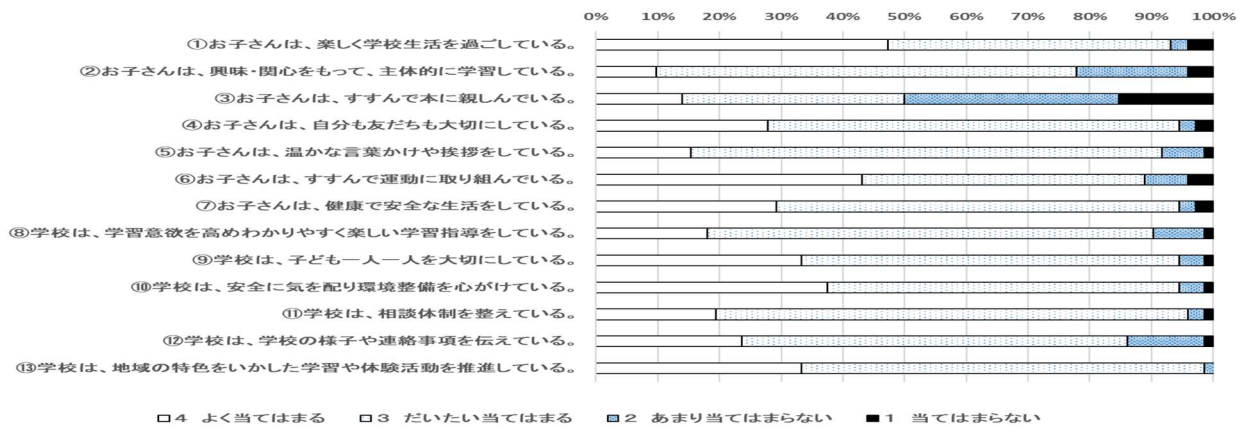
学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございました。保護者・児童を対象にした学校評価アンケートの結果についてお知らせします。学校では、この結果を真摯に受け止め、令和6年度の学校運営改善の視点にしていきたいと思ひます。

児童アンケート



児童は、多くの項目について、肯定的な評価をしました。まとめを自分の言葉で書くことにより、「②自分で考えたり、友達の考えを聞いたりして、進んで勉強する」について、90%を超える児童が肯定的な回答をしています。一方で、前期は「相談先や安心できる場所の確保」について、課題が見られました。「先生、あのね」期間の導入や、タブレットで毎朝「心の調子」を確認することで、一人一人に寄り添った対応ができ、前期よりも向上しました。

保護者アンケート



多くの項目について、肯定的な評価をいただきました。一方、「興味関心をもって主体的に学習している」は肯定的な評価が78%でした。児童の興味関心を生かした授業づくりに向け指導力の向上に努めてまいります。「進んで本に親しんでいる」は、肯定的な評価が50%程度にとどまりました。学校では、図書委員会がクリスマス朗読会を実施したり、読書感想文を掲示したりするなどの取り組みをしており、児童も一定数の本を読んでいます。ご来校の際は、教室等に掲示してある感想文をお読みいただき、保護者の皆様と情報を共有したいと考えます。

【児童・保護者共通】

本年度は、縦割り班活動（毎週火曜・業間休み）の充実により、「④自分も友達を大切にしている」では、児童が96%、保護者が100%肯定的な回答となりました。また、梨作りや米作り等地域と連携した体験活動により、「⑬地域のことを知ったり、体験したりする学習は楽しくて、面白い」は、児童、保護者ともに100%肯定的な回答をしていることは、地域に根差した教育を展開してきた成果と考えられます。

自由記述では、宿題について、「多くしてほしい」「少なくしてほしい」と様々な意見をいただいております。児童が主体的に家庭学習に取り組める工夫が、今後の課題となります。

今後も、児童一人一人に寄り添った教育活動を展開していきたいと思ひますので、ご理解ご協力をお願いいたします。